

## [002]九州大学ビジネス・スクールニューズレター

<https://hdl.handle.net/2324/2228907>

---

出版情報：九州大学ビジネス・スクール ニューズレター. 2, pp.1-, 2008-04. 九州大学ビジネス・ス  
クール  
バージョン：  
権利関係：



## TOPICS

### ……人物往来……

#### 東風吹かば、思い起こせよ「難解」の、 今は懐かし「龍」の講義を!

～小西 龍治

各界のリーダーになるべき皆さんはその自覚と厳しい自己規律が不可欠です。

以下にディシプリン的一端を記しますので、折節思い起こして下さい。このことを実行出来る人こそが、外形的な地位や名誉に関わらない、真の品格あるエリートです。



#### ①大企業、株式会社のトップを目指す友へ～

大企業株式会社とは、合法的・システムの「他人様」のお金を大量動員し自己の願望や生き甲斐の達成の為に使う人間集団、を意味します。ゆめゆめ自己正当化することなくお金を提供してくれる「他人様」に適正な還元をする事を忘れないように。また存在するから企業は社会の公器なのではなく、存在するに値することをして初めて公器足りうる可能性を持つ、ということについても、認識の倒錯が無い様に。

#### ②起業、アントレプレナーを目指す友へ～

天才と狂気は紙一重、勇気あるチャレンジと、無謀なギャンブルも紙一重、それ故、例え失敗しても謙虚なプライドを持って七転び八起きに挑み続けること。また世の中狂気を支援してくれる人もいることに常に感謝すること。

#### ③専門サービスに生きようとする友へ～

狭いスペシャリティに閉じこもって、偏狭で足下だけしか見ていないようなアドバイスをして「先生」、と呼ばれ高いフィーをもらって平気な人種にならないこと。まして中洲の「人生辻占師」程度の知識と弁舌をもって、ソリューションだの正義の先兵のごとき過大自己表示をして恥ずかしくないかのごとき行動は慎むこと。

#### ④公務員として大成を目指す友へ～

百パーセント他人さまのお金を使って自分の正義感とか社会価値観を満たすことを許されたとてつもない特権に身を置くことが許された立場であることを絶対忘れずに、感謝の気持ちを持って納税者すなわち国民に接すること。間違っても「他人様のため、普遍的正義のために働いている」、などと考えること。この点についてのディシプリンは、いささかも妥協せざることを。

以上ながしか皆さんへのチップになることを願って

……2008年3月14日 太宰府天満宮にて

#### 交流人事に伴う離任のご挨拶

～永田 晃也

私は本年4月、文部科学省科学技術政策研究所の総括主任研究官に就任することとなりました。この度の異動は交流人事によるものであり、2年後には九州大学に復職することが予定されております。QBSで担当してまいりました「イノベーションマネジメント」と「知識マネジメント」の講義は、この間、隔年開講の集中講義として継続させて頂きます。



科学技術政策研究所は、我が国の科学技術政策の立案に資する理論的・実証的研究を推進している研究機関であり、平成20年度には「科学技術基本計画」のレビューに関わる大規模な調査研究プロジェクトを開始します。私は、これまで新構想の大学院大学や専門職大学院に一教員として関与してきた経験を、このプロジェクトに参画する

過程で振り返り、日本のイノベーション・システムにおける大学の機能について再考する上で役立ててみる所存です。そのような取り組みが、QBSの発展を側面から支援し、ひいては九州大学の改革に寄与するものとなることを期してまいります。離任の期間中、QBSの関係者の方々にはご迷惑をおかけいたしますが、宜しくご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 着任のご挨拶

～朱 穎(しゅ えい)

私は政府規制とイノベーションというテーマで、自動車産業における技術革新を研究してきました。九州では、最近自動車産業が集中しており、当該関連産業の発展が顕著であります。自分の専門領域とバックグラウンドを生かしながら、今後もこの分野において研究を進めていきたいと考えております。また、九州は近年経済成長が著しい中国やアジア諸国と近く、こうした国々と九州との経済的係わりのあり方についても考えてみたいと思います。



#### 〈略歴〉

中国北京生まれ。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。一橋大学大学院商学研究科助手、跡見学園女子大学マネジメント学部専任講師、准教授を経て、2008年4月1日より九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻准教授。担当科目は『アジアの産業と企業』、『中国ビジネス』。

#### 中国人民大学・徐 二明 管理学教授からの メッセージ

梅の咲く時期に九州大学のビジネス・スクールに招かれました。空港を出るとやさしい博多湾からの風と、専門職係の中村さんの笑顔が私を迎えてくれました。そのような優しい取り計らいに私は心打たれました。



その後、QBSで、星野教授、村藤教授、出頭教授にお会いしましたが、先生方の暖かい気持ちは私が帰国するまで続きました。質問があつて、QBS事務室の藤村さんや花田さん、ほかのスタッフの方々に助けを求めたときはいつも満足の行く回答と笑顔が返ってきました。日本語で感謝の気持ちを伝えることができると何度願ったことでしょうか。また、わが中国人民大学のスタッフが、QBS事務室の皆さんの動きぶりを学んでくれたらと願ったものです。

私の授業に出ていたQBSの学生は優秀でした。昼間の大変な仕事を終えて、授業に間に合うように大学に来て、クラスでは真剣に学び、討論を重ね、試験に備える学生の姿は真剣そのものでした。私の授業が、学生の皆さんの中国の会社・アジアのビジネスについて理解を深める上で、少しでもお役に立てればと願っています。

現在、私はQBSでの授業を終えて北京に戻ってはいますが、私の気持ちはまだ九州大学にあります。九州大学ビジネス・スクールと中国人民大学のビジネス・スクールが親戚関係のような強い絆で結ばれ、交換留学生・学術研究者の交流が促進され、日本・中国両国の経済発展に貢献できればと願ってやみません。

中国人民大学の徐 管理学教授は2008年1月24日～2月18日まで福岡に滞在し、「アジア・ビジネス戦略」を講義。

TOPICS

**第8回 ICABE学生交流プロジェクト  
南京大学を訪問**

第8回ICABE学生交流プロジェクトでは、出頭教授、高田准教授、藤村助教、QBSの学生11名の合計14名が、3月7日(金)～3月9日(日)の3日間の日程で、南京大学やPhoenix Contact社を訪問しました。

3日間と短い時間でしたが、メインとなる南京大学では、学生同士によるプレゼンテーションで活発な意見交換を行うだけでなく、過去に交換留学生としてQBSで学んだ南京大の学生や、今秋来福予定の交換留学生とも心温まる交流ができました。また最終日には、帰国前の短い時間を利用して市内観光をするなど、充実した有意義な時間を過ごすことが出来ました。



『人材管理』、『高度経済成長』をテーマに学生間によるプレゼンテーション

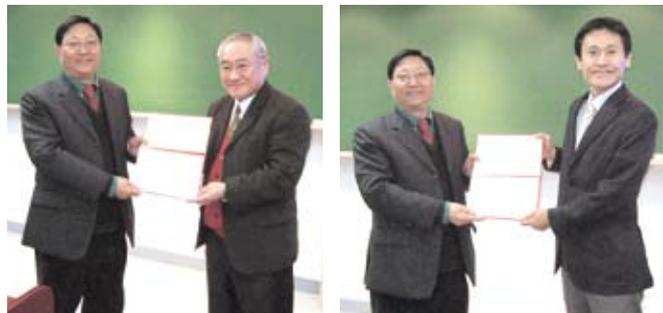


南京大学学生と記念撮影

ICABEとは、産官学の国際的なネットワークを形成することによってアジアビジネス教育の高度化を図る「アジアビジネス教育国際コンソーシアム(International Consortium of Asian Business Education)」の英語略称です。学生交流や研究会などを定期的に行っています。

**QBS教員 南京大学客員教授に任命される**

出頭則行教授ならびに高田仁准教授が、南京大学ビジネス・スクール院長 Zhao 教授より南京大学客員教授の任命書を授与されました。



出頭教授(写真 右)

高田准教授(写真 右)

**QBS提携校の拡充**

**タイのチュラロンコン大学とタマサート大学を訪問**

QBSでは、提携校を中国だけでなく東南アジアにも広める準備を行っており、その一環として星野専攻長、村藤教授とタイ国政府観光庁に勤めている富松さんの3名が、タイを訪問しました。

まず訪問した国立チュラロンコン大学は、バンコックの中心に広大な敷地を持つタイのトップ大学で、九大の提携校でもあります。昨年九大を訪問した財務担当のサンティ准教授の紹介で、商会計学部長のアノップ教授および国際プログラムディレクターのパクパチョン氏とミーティングを行いました。QBSへの交換留学生の派遣や、8-9月の学生交流を目的とした訪問などについて協議しました。

続いて訪問した国立タマサート大学も九大の提携校で、チャオプラヤー川東岸にキャンパスを有しています。国際関係担当副学長のチュラチープ教授、国際関係ビジネス・スクール担当ディレクターのフレッド氏、商会計学部長のガシニー教授との協議の結果、同校の国際関係ビジネス・スクールには日本専門コース(Japan Track)もあることから、今後の様々な交流に積極的に対応してくれそうです。交換留学生の派遣についても早速学生に打診してもらえることになりました。8-9月の学生交流が今から楽しみです。



チュラロンコン大学にて



タマサート大学にて

## T O P I C S

## 日産とQBSのコラボレーション

## QBS学生有志、日産・九州にエリア・マーケティングを提案

日産とQBSの縁は5年前のQBS創立時にさかのぼります。日産V字回復の立役者カルロス・ゴーンCEO(当時日産社長)がQBSオープニング式典で、記念のスピーチを行い、1期生に激励のエールを贈りました。ゴーンCEOには九州大学名誉博士号が授与されました。以来、日産とQBSは密接な関係が続けてきましたが、昨年前期、日産・九州のオリエンテーションに応じて、5期生を中心とするQBS学生有志が出頭教授のもとに集まりNプロ・チーム(日産プロジェクトチーム)が結成されました。Nプロ・チームは日産と協同して数々のリサーチを実施し九州ならではのエリア・マーケティングを提案、今年2月には志賀COOと日産経営陣にプレゼンテーションを行いました。



志賀・日産COO、日産経営陣を囲むNプロ・チーム

## 新MBA47人の巣立ち

好天に恵まれた3月22日(土)、九州大学の医学部百年記念講堂(福岡市東区)でQBSの修了式が行われ、6人の留学生を含む47人がMBAの仲間入り。QBSがスタートした平成15年以来、総計174人のMBAの誕生です。

星野専攻長の司会で式はスムーズに進行。川波経済学府長の「QBSで得た知識・経験・恩師・友人を活用しながらの発展はもとより、学業を支えてくれた人々のことも忘れずに」のお祝いの言葉、また、山田副学長の「MBAを取得したことが終わりではなく、ビジネスの現場で世界のMBAと切磋琢磨してください」との激励に修了生は真剣な面持ちでした。

ビジネス界の来賓による暖かい祝辞につづき、ガウン・キャップ姿の修了生が登壇して、川波学府長からひとりひとり学位記が授与されました。修了式に列席の家族、友人のカメラのフラッシュが続き、にぎやかな瞬間でもありました。5期生の汐月さんからの送辞、4期生(修了生)中西さんの新たな決意を含んだ答辞。列席の教授陣も、修了生との2年間のつながりを思い起こしてか、感慨もひとしおの様子でした。

式終了後のロビーでは、恩師との、友人との、家族との歓談・記念撮影のシーンがしばらく続きました。また、当日は、修了生の先輩に当たるQBSアルムナイ・ネットワーク(QAN)の理事メンバーが同窓会への入会を呼びかけ、殆どの修了生が会員登録をすませました。

新MBA47人のこれからの活躍が期待されます。



## QBSフォーラムの開催

修了式の興奮も冷めぬ3月23日(日)、九州大学西新プラザ(福岡市早良区)で、4期生有志によるQBSフォーラムが行われました。悪天候にもかかわらず、外部講師、QBS教授陣、修了生、在校生など総勢60人が参加。学生が主体となって開催したこのフォーラムでは、「組織・人材・知識マネジメント」、「産業政策」、「ビジネス戦略・ビジネスプラン」、「MOT」の分野に分かれて、プロジェクト演習の成果が発表され、熱心な討論が行われました。



## 学生紹介



修了生  
坂本 剛さん(4期生)  
所属  
九州大学知的財産本部  
起業支援部門リーダー

今年の3月にQBSを修了したばかりです。現在、母校でもある九州大学の知的財産本部において大学発ベンチャー支援の責任者として働いています。

在学中は、財務関係、MOT関係の講義を中心に受講しました。また、勉強以外では、学生組織である「学生会」の会長を務め、マレーシアへのミッションツアー、合同ゼミ合宿、BBQ大会や卒業旅行など様々な活動を行いました。

それらの活動を通じて得られたQBSの同級生、修了生とのネットワークが私にとって最大のアセットです。今後このネットワークを活用して具体的な産学連携プロジェクトを立ち上げたいと考えています。



修了生  
立石みちよさん(4期生)  
所属  
フィリップ モリス ジャパン(株)  
ヒューマン リソース

「人と組織に貢献できる人事ウーマンであり続けたい」と願って、今何をすべきか考えていた時にQBSを知り、2006年4月に入学しました。QBSは、知識を習得する「場」であるだけでなく、学生同士が自由に議論し、切磋琢磨する「場」。2年間、この「場」に身を置き、経営者の視点から人事を捉える素地が養えたと自負しています。今年3月にQBSを修了しましたが、QBSで得た様々なことを糧とし、志を遂げるべく日々(たとえ僅かであっても)前進していきたいと思っています。

## 6期生45人が入学

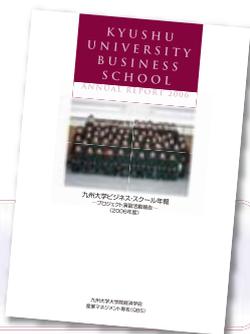
キャンパスの桜が満開の4月5日(土)、QBSの6期生45人を歓迎する入学式が、九州大学国際ホールで行われました。入学式の後、記念撮影、3時間にわたるオリエンテーションと、新入生は緊張の面持ちで新たなスタートに臨んでいました。



## 『九州大学ビジネス・スクール年報 —プロジェクト演習活動報告—』創刊号誕生

QBSの学生は、「学びを仕事に活かし、仕事を学びに活かす」という考えのもと、2年間の在学中にビジネスに関する高度な知識や、マネジメントのスキル・論理的な思考を得ることになります。そして2年目には、それぞれの問題意識に基づいたプロジェクト演習が、修了条件として課せられます。プロジェクトの成果は研究論文、ビジネス・レポート、ビジネス・プランやケースなどのさまざまな形態のプロジェクト論文にまとめられています。

創刊号(2006年度版)は2月に発行され、現在、次号(2007年度版)も発行準備中です。



## QBSホームページを一新

QBSのホームページが、近々デザイン一新で見やすく、情報量も多くなります。QBSの“現在”を新鮮な状態でお届けしますのでご期待下さい。また、新ホームページに対するご意見、ご要望などお寄せください。

旧アドレス

<http://www.en.kyushu-u.ac.jp/BS/>

新アドレス

<http://qbs.kyushu-u.ac.jp>

(5月中旬頃オープン予定)

## 学生紹介



修了生

イム チュンさん(1期生)

所属

モバイルコンテンツプロバイダー

It has been almost 3 years since I graduated from QBS and joined the current company, a mobile contents provider.

As I had no academic background of business before, QBS had prepared me with all the basic knowledge I need to handle the work. Not like my classmates, I, who without experiences in a specific industry, didn't have any focus when studying at QBS. I wasn't thinking too much when taking classes were merely out of interest and curiosity. It was until now I realized all the dots got connected together finally. The most important thing I realized is whether at school or work, we should always have the same attitude – wanting to learn and keep learning. Besides the knowledge and information you could learn from classes, I think the most precious knowledge were experiences shared by classmates and professors.

As a company director and working wife, 2008 is a special year for reaching a new milestone for me. I am thankful for once being a student at QBS and always cherish what I have acquired here, which have become the elements of who I am today.



修了生

長南宏太三さん(2期生)

所属

株式会社サヴィー

上海颯維企画諮詢有限公司

QBSを修了して2年経ちます。この学習期間がなかったら、いま海外進出できたのだろうか?とよく自問している今日この頃です。

2007年8月に上海での現地法人が認可され、現在は現地事業のスタートアップの真っ最中で、QBSで学んだことを色んなシーンで実践しています。QBSでは、ビジネス環境をいろんな視点で測る「ツール」や、ビジネススキームを構築する為の「手法」を学習したわけですが、この「ツール」が自社の成り立ちを把握し、将来を照らす明かりの役割を果たしていることを考えると、ツールを知らずに経営すること、またビジネススキームをつくる「手法」を知らずにビジネスをすることは、ある意味暗闇を猛スピードで走り抜けることに等しいことだと実感しています。これからも何かを成し得るために、QBSで学んだことを活かしつつ、自己修練を積んでいきたいと思っています。

## \*QANだより\*

### QBS修了生がBBIQモーニングビジネス・スクールに出演

クロスFMで放送されているBBIQモーニングビジネス・スクール(月~金・朝7:30~40)はビジネスマンに人気の番組で、QBSの在校生や修了生も時々出演しています。以前から修了生が出演することはあったのですが、2008年から在校生、修了生の出演が準レギュラー化しました。出演者の顔ぶれはQBSの学生が多様な人材の宝庫であることを反映して、起業した人、経営幹部、留学生、IT技術者、営業のプロフェッショナルと様々です。話題も、留学生の目から見た日本やQBSの学生生活、QBSで学んだことをビジネスの現場でどう生かしているか、などバラエティに富んでいます。教員の話とはちょっと違う視点でビジネス・スクールが紹介されていて、入学を検討中の方には、お勧めのコンテンツです。

【QAN公式サイト】<http://qan.en.kyushu-u.ac.jp/>

## 編集後記

九大箱崎キャンパスの緑がきれいな季節になりました。

QBSにかかわる皆様のご協力のおかげで、昨年12月のニューズレター創刊号につづき、第2号をお届けすることができました。

今回は時節柄、修了式、異動、入学式などの行事が中心となりましたが、今後は、少しでもQBSカラーを出せるよう努力していきます。これからも、皆様の支援、ご協力よろしくお願ひいたします。ニュースソースや、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご一報ください。(花田)

### ●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ:

812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 貝塚地区事務部教務課専門職大学院係 TEL:092-642-4167

URL: <http://qbs.kyushu-u.ac.jp>

編集発行 九州大学ビジネス・スクール

担当 QBS事務局

住所 〒812-8581

福岡市東区箱崎6-19-1

電話 092-642-4278

E-mail: [bs@en.kyushu-u.ac.jp](mailto:bs@en.kyushu-u.ac.jp)